

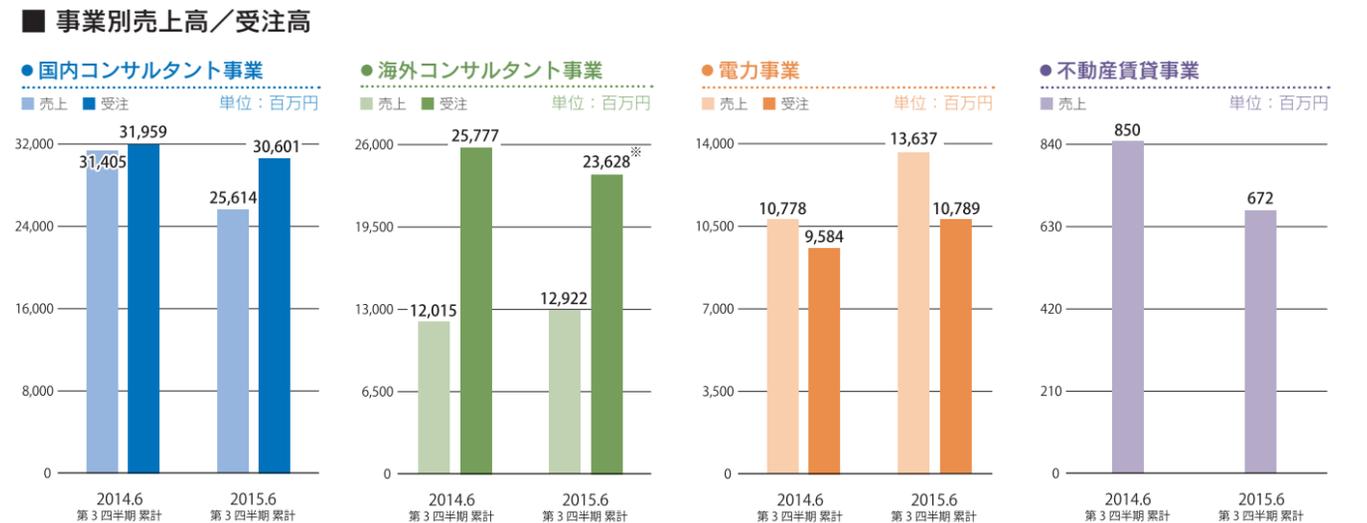
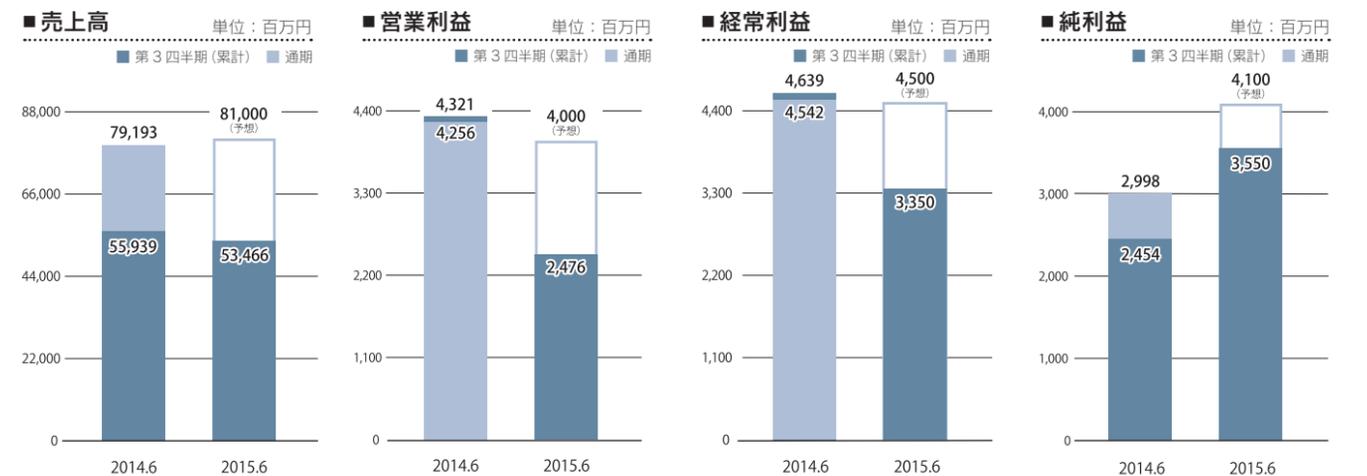
「誠意をもってことにあたれば必ず途は拓ける」  
私たちの情熱が、変わることはない。  
世界中の人がいきいきと暮らすための礎を築き、その維持発展に尽くしていく。  
一人ひとりが結束し、持てるすべてを集中させて。

## 2015年6月期 第3四半期 連結決算ハイライト

5月15日、2015年6月期(第71期)第3四半期(2015年1月～3月)の日本工営グループの業績を発表いたしました。売上高は53,466百万円で、計画値に対して66.0%の達成率となりました。

	2015年6月期 第3四半期 (2015.1～2015.3)	前年同期 (2014.1～2014.3)	増減	2015年6月期計画値
売上高(百万円)	53,466	55,939	-2,473	81,000
営業利益(百万円)	2,476	4,321	-1,845	4,000
経常利益(百万円)	3,350	4,639	-1,289	4,500
当期純利益(百万円)	3,550	2,454	1,096	4,100
受注高(百万円)※参考	65,033	67,330	-2,297	80,000
受注残高(百万円)※参考	95,001	80,584	14,417	—

(注) 数値は四捨五入・切り捨て処理などの関係で、合計が合わない場合があります。



\*今期よりNIPPON KOEI VIETNAM INTERNATIONAL CO., LTD.、PT. INDOKOEI INTERNATIONAL およびPHILKOEI INTERNATIONAL, INC.の3社を連結子会社としたため、連結開始時の受注残1,205百万円、246百万円および427百万円を含めております。

### 目次

2015年6月期 第3四半期 連結決算ハイライト.....	03
水車を回し、未来を拓く ～日本工営の小水力発電事業～ .....	04
株主様アンケート結果 .....	07
News Gallery .....	07
当社がマネジメントサービスを行う「熱海ビーチライン」のアセットマネジメントシステムがISO55001の認証を取得	

# 水車を回し、未来を拓く ～日本工営の小水力発電事業～

水資源が豊富な日本で見直されつつある水力発電。再生可能エネルギーの中でも安定した発電システムとして期待が高まっています。再生可能エネルギーを通じた地域への貢献、地域のニーズの実現に日本工営の技術者たちが取り組んでいます。

水力発電は日本工営の伝統分野であり、長年コンサルタントとして、機器メーカーとして関わってきましたが、2010年ごろから自ら事業者となる水力発電事業への取り組みを本格化しました。その後、2011年の東日本大震災をきっかけに、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）は一気に広まりました。これを追い風に、2013年5月に新曾木発電所を完成させ、以後、小水力発電事業の実績を重ねてきました。本年6月の小鷹水力発電所の運転開始で5ヶ所の小水力発電所が稼働することになりました。

## 各発電所の特徴

### ■ 新曾木発電所（鹿児島県 伊佐市）

観光名所でもある「曾木の滝」には半世紀前ダムに沈んだ旧曾木発電所がありました。その旧発電所の取水口や沈砂池などを新発電所に活用しただけでなく、観光客の多い時間帯には取水量を調整して滝の景観に配慮するなど、環境にやさしい発電所へと生まれ変わりました。再生可能エネルギーの教育施設としても地域に活用されています。



新曾木発電所一案内板で発電のしくみを紹介

### ■ 高井発電所（長野県 高山村）



高井砂防堰堤—酸性の水の利用は地域の長年の課題でした

長野県を流れる松川は、自然由来および休廃止鉱山による酸性の河川で、魚類の生息は困難、農業用水としても利用できず、水の有効利用は地域の長年の課題でした。

高井発電所は、この松川の未利用水と既設の大型砂防堰堤の落差を利用することで発電を行い、時代に合った地域資源の活用を図ります。発電所は2015年10月に完成の予定です。

### ■ 白滝発電所（北海道 遠軽町）

町営白滝発電所は、2011年9月の台風で発生した洪水により水車、発電機、制御装置などが浸水し、運転停止を余儀なくされました。

当社は、2014年9月に遠軽町から既設設備を譲渡していただき、地域の要望である「発電所の再開」に向けて歩みを進めました。浸水した設備を新しいものに取り換え、以前よりも出力を増強して、2016年7月に運転開始する予定です。

### ■ 小鷹水力発電所（鹿児島県 薩摩川内市）

水力発電には水と落差が必要です。低落差の開発可能地点は潜在的に数多く存在しますが、経済合理性の理由などからこれまで導入が進んできませんでした。

らせん水車は、比較的構造が簡易であるため、設置時のコストや維持管理の労力を削減できる可能性があります。当社は薩摩川内市と共同で実証事業を行い、水車発電機の効率、低コスト化の検討、魚類への影響、騒音対策などの、らせん水車導入時の課題となる項目について検証しています。

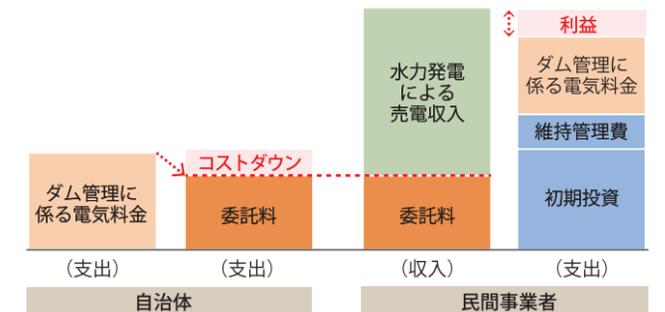


小鷹水力発電所—らせん型の水車  
見学を受け入れるためオープンなつくり

### ■ ダムESCO事業（寺山ダムESCO、塩原ダムESCO、四時ダムESCO）

ダムESCO事業は栃木県が考案した日本初の取り組みで、ダム管理費の削減と再生可能エネルギーの有効利用を目的としています。

水力発電設備の計画、導入、製造、維持管理に関する技術、省エネルギーにおけるESCO事業等、豊富な実績に裏付けられた技術提案の結果、当社が第1号案件である寺山ダムESCO事業に特定されました。その後、同じく栃木県の塩原ダム、福島県の四時ダムでも運転を開始しています。



ダムESCOのしくみ（イメージ）

## ダムESCO事業の概略

- ① 自治体は、水力発電設備の設置場所などを民間事業者へ提供。
- ② 民間事業者は、水力発電設備を導入し売電すると同時に、既存設備の省エネルギー化を図る。
- ③ 民間事業者はダム管理にかかる電気料金を自治体に代わって支払い、売電収入から費用と利益を確保。
- ④ 自治体は、ダム管理にかかっていた電気料金と民間事業者への委託料との差額分、コストダウンを図る。

## EPC事業

当社が事業者となるだけでなく、顧客のニーズに合わせた形で、水力発電に関するソリューションを提供しています。その中でもEPC事業は、当社が一括で設計と施工を請け負うことで、発注者の負担軽減、コストダウン、早期FIT認定の取得、工期の短縮などといった

メリットがある事業です。

宮崎県椎葉村の<sup>まかやばる</sup>間柏原発電所は、老朽化により近年は最大出力が確保できず、修繕費用もかさむ状況にありました。当社は椎葉村とEPC契約を締結し、調査、設計、許認可取得、施工、機器納入のすべてを手がけました。さらに、維持管理のためのモニタリングサービスも行っています。

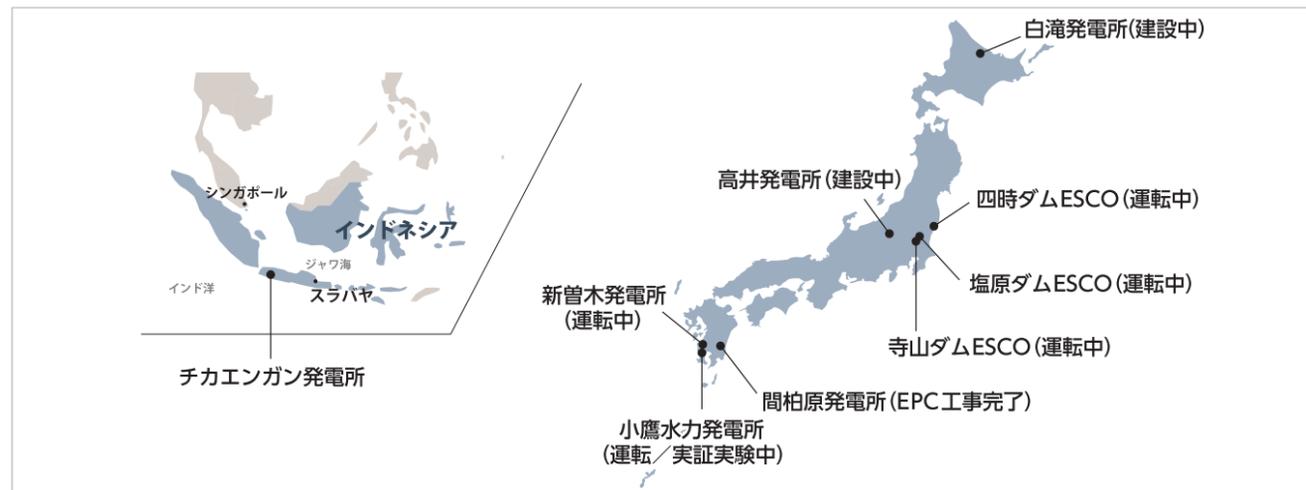
その他、水力発電設備を持つ民間企業などからも、それぞれの状況に合わせたリニューアルや機器納入の引き合いを多数受けています。



間柏原発電所—リニューアルとともに旧水車・発電機を展示し、学習用施設としての利用を提案

## 海外展開

小水力事業の海外展開も視野に入れています。インドネシア国チカエンガン川流域で計画中の小水力発電



事業は、出力は7,200kWで、インドネシア版FITにより売電します。当社は、計画・事業化検討・設計・投資・資金調達・施工監理・事業運営・運転維持管理といった民間発電事業の全てを担います。

## 小水力発電事業の運営体制

2015年1月、「株式会社工営エナジー」を設立し、これまで地域ごとに5社あった水力発電事業会社を傘下に収め、事業運営の効率化と情報の集約化を図り、さらなる事業の拡大を目指しています。また、60年以上一貫して電力設備に関わるものづくりを行ってきた福島事業所も当社の小水力発電事業の中核として欠かせません。小水力発電に関する機器の更新・新設需要が高まる中、これまでの実績から今後も継続的に事業を推進することができると判断し、昨年11月に第二機電棟を新築して生産能力を増強しました。

## 地域に愛される発電所に

水力発電事業には、地域の人々の理解と協力が不可欠です。「地域の発展・活性化」を念頭に、地域に根差し、地域の方々に愛される発電所の運営をこれからも続けていきます。

## 株主様アンケート結果

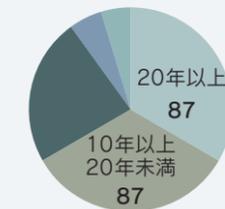
前回のこうえい(2015年4月発行)において、株主様アンケートを実施しました。263名(回答率約3%)の株主様から貴重なご回答をいただきました。誠にありがとうございました。主な結果をご報告させていただきます。株主様からの貴重なご意見・ご要望は、今後の経営やIR活動の参考にさせていただきます。

### 総括

回答を下さった株主様の構成として、10年以上の長期保有者が多く、「事業内容に共感した」という理由で、当社株式を購入された方が最も多くいらっしゃいました。また、今後については配当の増加、新たな成長に期待をするというご意見が多く寄せられました。

### 保有期間

20年以上	87
10年以上 20年未満	87
3年以上 10年未満	61
1年以上 3年未満	14
1年未満	12



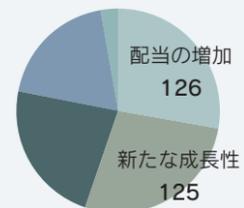
### Q1. 当社株式を保有された理由 (いくつでも)

事業内容	136
株主還元(配当)	94
株価の上昇期待、割安感	85
経営理念	72
信頼性	62
業界の成長性	49
財務内容	35
当社の取引関係(元)従業員	31
相続	21
収益性	18
その他	17
証券会社の勧め	6
マスコミなどの推奨	2



### Q3. 今後当社に期待すること (いくつでも)

配当の増加	126
新たな成長性	125
株価の上昇	103
事業の安定性	86
その他	12



## News Gallery

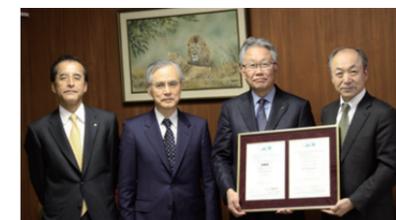
### 当社がマネジメントサービスを行う「熱海ビーチライン」のアセットマネジメントシステムがISO55001の認証を取得

熱海ビーチラインは、湯河原から熱海までの全長6.1kmの海岸線道路で、当社は2002年よりこの事業の運営全般のマネジメントサービスを手がけてきました。このたび、当事業を対象に、株式会社グランビスタホテルアンドリゾートと共同で、株式会社日本環境認証機構(JACO)よりISO55001の認証を取得いたしました。日本国内の道路事業では認証取得第一号となります。

ISO55001は全ての社会インフラ分野で「資金、人材、情報などのマネジメントを含めて計画的かつ効率的に施設管理を行うことによって所期の機能を継続的

に発揮していくために必要な要求事項」をまとめたISO規格です。

当社は本件において対象施設の資産評価、財務評価、リスク管理・評価、モニタリング計測・評価などのインフラ事業運営に要請される技術を蓄積してまいりました。このたびの認証により、蓄積されたアセットマネジメントシステムの構築・運用に関する各種ノウハウが、今後の維持管理計画検討業務、管理事業実施の効率化や品質向上に寄与すると考えております。



認証を受け取る有元社長(右から2人目)

誠意をもってことにあたり、  
技術を軸に社会に貢献する。

 **日本工営株式会社**

〒102-8539 東京都千代田区麴町 5-4  
コーポレート本部 総合企画部  
ホームページ <http://www.n-koei.co.jp>

